

家きん舎内にウイルスを侵入させないために！

①ウイルスを持ち込むのは人が野生動物

ウイルスを持ち込まない・持ち込ませないためには、家きん舎の屋根、壁、床、防鳥ネット等に穴や破損などの野生動物などが侵入する場所を作らないことが大切です。

人：着替え、履き替え、消毒等によるウイルス侵入防止

野生動物：家きん舎の屋根、壁面、防鳥ネットの破損箇所の点検・修繕
によるウイルス侵入防止

②消石灰の効果

消石灰による消毒（農場敷地への散布）は、野生動物などの侵入を防止するだけでなく、これらの手足に付着した鳥インフルエンザウイルスを殺すことから家きん舎内へのウイルス侵入防止効果が高いとされています。

一方、消毒液による消毒効果については、瞬間の殺菌効果は高いものの、乾燥してしまったり、地中に浸透したりすると効果がないことから、消石灰のような野生動物等への消毒効果は期待できません。

以上のように、**家きん舎周囲の消毒を実施する場合は消石灰が有効**です。

万一、飼養者が気付かない小さな穴などが家きん舎にあった場合でも消石灰で地面を覆うことによってウイルス侵入リスクを下げるすることができます。

③野生動物による病原体の侵入防止

野生動物の侵入を防ぐためには、日頃から家きん舎の屋根、壁面、防鳥ネットの破損箇所の点検を行い、破損がある場合には、すぐに破損箇所を修繕するとともに、ネズミや害虫の駆除しましょう。

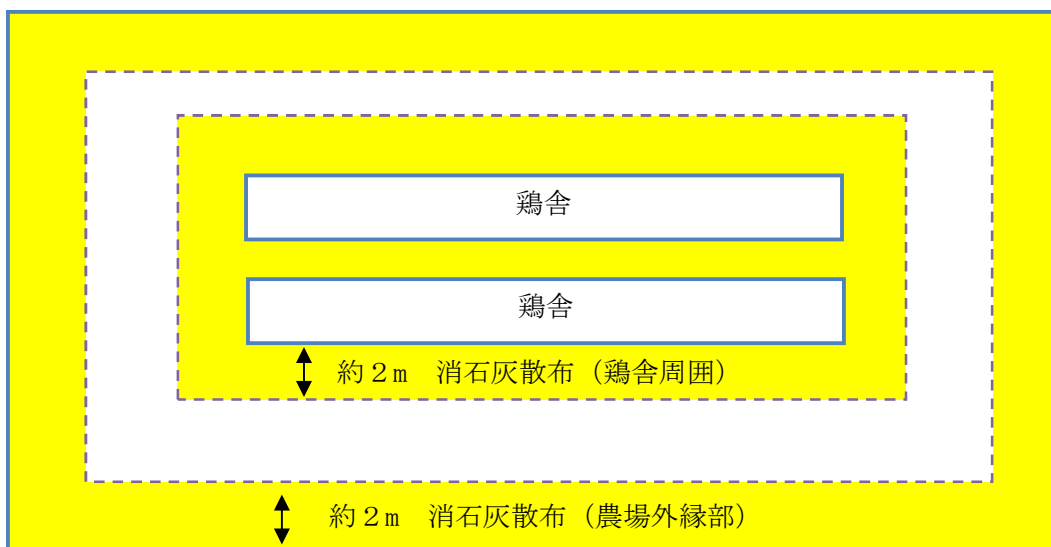
適切な例



不十分な例



《参考》消石灰散布のイメージ



※ 消石灰の散布量：0.5～1.0 kg/m²を目安とする。



人と自然と文化の交響楽・佐賀

佐賀県

<http://www.pref.saga.lg.jp/>

佐賀県畜産課

佐賀市城内1丁目1番59号

TEL : 0952-25-7122

FAX : 0955-25-7309

E-mail : chikusan@pref.saga.lg.jp